

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	17095	行政情報提供事業	課名	政策課 広報秘書G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財	会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	務	款
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	02:広報活動費
事業予定期間	H 19 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等		

② 目的・概要	対象	ケーブルテレビ加入世帯
	目的	ケーブルテレビという「動画」の特性を活かして、市の各種施策・制度やイベントなど、地域に密着した情報を提供することにより、市民の自分が住んでいるまちとしての愛着を高める。また、本市の魅力を動画で市内外へ発信し、本市の知名度とまちのイメージの向上につなげる。
概要	ケーブルテレビ加入世帯に対し、市の各種施策・制度やイベント情報などを盛り込んだ行政番組を制作・放送する。また、シティプロモーション推進事業と連携し、定住促進に向けた番組を制作し、市内外へ発信する。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○行政情報番組制作及び保守管理 ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 ・文字情報放送機器の賃借及び保守 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブルの賃借 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政情報番組制作及び保守管理 ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 ・文字情報放送機器の賃借及び保守 ・文字情報放送機器の更新検討 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブルの賃借 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政情報番組制作及び保守管理 ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 ・文字情報放送機器保守 ・文字情報放送機器の更新準備 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブルの賃借 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○行政情報番組制作・保守管理業務 ・年間53番組制作(通常49、ダイジェスト4) 市民アナ41回、高校生9回、中学生3回 市民アナ出演協力10回 ○文字情報の提供・保守管理業務 ・イベント・募集、災害、選挙情報を放送 ○CATV周波数帯域・光ファイバーC賃借 			
事業費	計画額	事業費 24,900千円	24,800千円	25,600千円	
	予算額	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源		24,900千円	24,800千円	25,600千円	
決算額	事業費	24,574千円	24,472千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	24,574千円	24,472千円	0千円	
	事業費 ①	24,348千円			
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
総コスト	その他				
	一般財源	24,348千円	0千円	0千円	
	総人件費 ②	3,840千円			
	一般職員	3,840千円			
	所要人員	0.50			
総コスト	臨時職員等	0千円			
	総コスト(①+②)	28,188千円			
受益者負担率	0.0%				

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	
④ 指標	①	名称 年間制作番組数	活動	計画値	52	52	52
			実績値	53			
			単位	番組	番組	番組	
	②	名称 市民アナウンサー・レポーターの活用回数	活動	計画値	52	56	60
			実績値	63			
			単位	回	回	回	
	③	名称 市外への番組提供数 いこか連携等を活用した市外における、来訪促進や定住促進に関する番組提供数	活動	計画値	4	5	6
			実績値	4			
			単位	番組	番組	番組	

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 市民に身近な行政情報番組づくりのため、新規の市民アナウンサーの募集、高校生・中学生アナウンサーの登用のほか、広報やチラシに基づき市民が多数参加するイベントなど取材対象の選定を行う。シティプロモーション戦略のキャッチフレーズ「住めば、ゆうゆう。」を広く周知し、亀山の魅力を再認識してもらえるような番組づくりを行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 新規の市民アナウンサーの増加を狙って、年度途中の8月に追加募集を行った。高校生アナウンサーに継続して参画してもらえるよう、高校への依頼を業務内容に落とし込んだ。多くの参加者が参加し、旬の話題を提供しようと、かめやま文化年2017のイベントを取材対象として多数選定した。シティプロモーション戦略のキャッチフレーズ「住めば、ゆうゆう。」を意識した番組制作を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 年間を通じて、市の各種制度・施策やイベント情報、また、地域に密着した話題を含めた行政情報番組を計画どおり制作・放送することができた。特に、市民に親しんでもらえる番組づくりのため、継続して高校生や中学生に市民アナウンサーを務めてもらい、また年度途中で新規1名の市民アナウンサーの協力も得ることができた。そして、キャッチフレーズ「住めば、ゆうゆう。」を意識した番組として、野外体験保育やコミュニティスクールなど加太地区の魅力を市内外の人に発信できる「心地よい加太の亀山ぐらし」という番組を制作・放送することができた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 番組制作の過程で、市民や市民活動団体の方に出演していただき、自らの声で情報発信していただく番組づくりを行うことで、まちに対する愛着を深めていただく機会にすることができた。また、本市で暮らしている方々を番組内で紹介することで、野外体験保育やコミュニティスクールなどの子育て環境や創業支援制度などを本市の魅力として現実味を加えて情報発信することができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 市民に親しまれる行政情報番組を制作できるよう、市民や中高生アナウンサーの活用を継続するとともに、市民や市民活動団体の方が自らまちの魅力をアピールするような番組づくりを行う必要がある。また、亀山市シティプロモーション戦略の考え方を踏まえ、まちに対する愛着や誇りが高まるような番組づくりを行う必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 市民アナウンサーの募集や、中学校、高校へのアナウンサーの協力依頼を適切な時期に行う。市民参画による番組づくりができるよう、担当部署との番組企画書の調整段階から、市民や市民活動団体の有無について確認を行う。シティプロモーション戦略のキャッチフレーズ「住めば、ゆうゆう。」を意識し、市民や市職員など自らがまちの魅力を発信する役割を担っているという認識を持って番組づくりを行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 市民や市民活動団体が主体的に番組制作に関わることで、市政情報などを広く周知できるとともに、まちへの愛着が高まることが期待できる。また、中学生や高校生に番組づくりに関わっていただくことで、ふるさとに対する想いやこのまちに住み続けたいという気持ちが高まることが期待できる。	
対応時期		毎年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 松岡 保範
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 豊田 達也